

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 わかたけ共済部	代表者	白藤 宗徳	法人・ 事業所 の特徴	わきあいあい わかたけは平屋建ての木材が多く使用されており、木の持つ暖かさ、やわらかさがある施設です。同一敷地内に、法人内の保育所、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業所の施設があり、施設間の交流、連携が行われています。事業所の様子とし、事業所名のように、利用者と一緒にわきあいあいと利用者の笑顔が見られるように過ごしてもらえなことを心がけています。
事業所名	わきあいあい わかたけ	管理者	佐藤 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	継続してミーティング・カンファレンスを定期的に行い、「できている」項目を継続し、それぞれの職種が連携・協力し、より良い支援となるよう取り組む。	ミーティング・カンファレンスを定期的に行い、個々の計画目標を作成することで個別性の重視する対応に努めた。	職員全体が課題と対策を理解・共有しており各自が自分の中に落とし込み仕事している姿勢が伺える。継続して、地域資源を難しく考えず、配達・薬局・美容院等も地域資源となり、活用していくといい。	社会資源も活用しながら利用者へ寄り添い聞き出した本音等をサービスにつなげている介護度の高い方も安心してご利用できるよう、技術面、臨機応変にサービスを提供できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	日々の清掃、環境整備を継続し、来客者の対応を評価していただき居心地の良い環境になるよう努める。	来客者が心地よい環境になる為、日々の清掃、挨拶、環境整備、感染症対策の継続を行った。	不快な音や臭いはしたことがない。施錠されてなく初回訪問時も安心感があり、玄関横にすぐ事務所があり要件等を伝えやすくなっている。	日々の清掃、挨拶、環境整備、感染症対策の継続とし、季節に応じて事業所の展示物を変更したり、利用者様と新しく作成して四季折々の環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	日中活動や地域行事への参加を通して利用者・職員が地域との繋がり意識を高め、また地域の方々にも事業所理解を深め、地域資源の一つとして認知されるようふれあいの機会を増やす。	少しずつであるが、個々の地域と繋がるよう行事の参加を積極的に行っている。今後も継続して地域の社会資源として認知されるようふれあう機会の継続が今後も必要である。	全体としては良好。地域との関わりがより今後活発になっていくことに期待しています。災害時など日ごろから地域の関わりが多方の助けになるので積極的にお願いしたい。	利用の有無に関わらず近隣の方の介護の相談などが受けられる事業所を目指していく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方と一緒にあって利用者の暮らしを支えられるよう支援するため、積極的に地域に向き地域の方とお話や関われる機会をつくる。	利用者様以外の方にも事業所として関わりをおこなった。馴染みの店、昔の写真など利用者様の意見を聞き情報交換に努めた。送迎時に近所の方との関わり、挨拶、個々の地域の民生委員の方との連携等の継続が今後も必要である。	地域との関わりが増えてきていること、本人の意向や状況を見抜いて参加を判断しているので評価できる。	・利用者の通所サービスでの様子や、利用者宅の訪問及び家族とのコミュニケーションなどで利用者へのサービスニーズをくみ取り、職員全員で共有しあうことで、よりよいサービス提供につなげていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通して事業所の取組みや状況説明、改善点を報告・相談をおこなっていく。	ご家族様の相談を受けたり、意見をお聞きしたことを通常の業務にも活かせるように取り組んだ。	管理者だけでなく、職員が会議に参加する機会が増えていて職員意識向上につながっている。	運営推進会議の議題の一つとして、地域の方々の状況等を毎回取り上げ、確認、共有して職員が会議に参加する機会が増えていて職員意識向上を継続していく
F. 事業所の防災・災害対策	近隣の方々や地域の方々より事業所の防災訓練に参加していただくと共に、地域の防災訓練に参加できるような体制作りを整える。	昼夜問わず、火災、地震、水害、避難訓練を継続的に実施できている。事業所が地域の防災訓練に参加はできたが事業所の防災訓練の地域の参加はなかった。	施設内の防災・災害対策はできていると評価できる。施設外とも連携が取れるようにはたらかせていってほしい。	・災害時には地域の方々と連携が取れるよう、地域の方とはお互いに協力体制を維持していきたい。 ・事業所の防災計画を運営推進会議等で公表し、地域の意見も取り入れながら、よりよい災害対策を考えていきます